



## 女子学生による私の未来発見事業



### 女子学生による私の未来発見事業

看護学科2年

私達は、昨年11月に県が主催した「女子学生による私の未来発見事業」で、県立中央病院で透析看護の専門性を深め活躍されている太田看護師さんへの取材内容を発表しました。制作過程では、本格的な撮影機材を使用した撮影から動画編集までの全てを自分たちで行うことに大変苦戦しました。太田看護師さんが信念を持ち、やりがいを感じながら仕事をされている姿はとても素敵で、私達も個々の能力を活かして輝ける看護師を目指したいと思いました。

### 新入生個人面談

保健室 塩田敦子教授

医療者を目指す学生は優しく真面目でデリケートです。平成28年度から始まった障害学生支援の一環として、また楽しい学生生活を送り、元気な医療者になってもらえるよう、今年度より保健室・学生相談室では相談教員を増やすとともに、就職コーディネータの尾藤さんと担任による新入生の個人面談を始めました。尾藤さんの話術に、ついおせられ、自分のことを話せて安心した学生、困りごとがあって支援につながられた学生…多い個人面談になりました。

## 新入生宿泊研修

平成29年5月12日(金)～13日(土)

看護学科 1年 宮崎 朋子

宿泊研修では、ディベート甲子園や金刀比羅宮参拝、レクリエーションなどをして看護学科、臨床検査学科ともに交流を深めていくことができた。中でも私はうどん作りが印象に残っている。うどん作りの時、周りを見渡すと、皆笑顔で楽しくうどんを作っていた。和やかな雰囲気の中で香川自慢のうどんを自分なりにつくった。作ったうどんを家族に見せると喜んでくれていて嬉しかった。これからの4年間、このメンバーで切磋琢磨して頑張っていきたい。



ディベート大会

臨床検査学科 1年 石川 奈央

入学して1ヶ月、友達もできたばかりだったため、ドキドキしながら宿泊研修の日を迎えた。臨床検査の人は全員の顔と名前と出身地くらいは把握していたが、看護の人となると、顔も名前も曖昧で、話したことがない人ばかりだった。1.5日間という短い研修だったが、講師の先生としたゲームや、学生レク、ディベート大会のおかげで、看護の人とも、臨床検査の人とも親睦を深めることができた。本当に楽しい宿泊研修だった。



うどん打ち体験

## オープンキャンパス2017

平成29年7月22日(土)

本学の受験を希望される高校生とその保護者を対象にオープンキャンパスを開催いたしました。

昨年を上回る714名の参加があり、終始、参加者の笑顔や熱心な質問でにぎわいました。

看護学科・臨床検査学科の特徴ある実習室の見学や体験を通じて、本学の魅力を実感していただけたと思います。



## 保健医療学研究科博士後期課程（臨床検査学専攻）第1期生入学式

平成29年4月21日(金)



平成29年4月21日に、大学院保健医療学研究科博士後期課程（臨床検査学専攻）の第1期生2名の入学式が執り行われました。来賓として香川県臨床検査技師会長、香川県健康福祉部長等のご臨席をいただき、学長告示では、21世紀の保健医療を先導する新しい研究領域を開発、確立し、より高度な専門的能力かつ広範な知識を有する教育者・研究者を目指すよう励ましのことがありました。

## 公開講座「健やかに生きよう」 平成29年8月23日(水)

去る8月23日に第1回公開講座を本学で開催しました。昨年同様、いきいき健康広場と同時開催となりました。看護学科岩本講師が「“がん”に罹患した後の人生を力強く生きるために」、教養部ジャンジュア教授が「第二言語を学ぶこと：脳を活性化させ、老化を遅らせる」と題して講演を行いました。タイムリーな演題であったので、93名の方が熱心に聴講されました。講演が終わってからも受講者の方から質問が多く寄せられました。



## 看護学科三木准教授が日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会学会賞を受賞されました



授賞式後の三木佳子准教授(右)  
ストーマ学会理事長 前田耕太郎先生(左)

受賞論文はセクシュアリティ指標に関するもので、カップルの相互作用が測定できます。カップルは家族の軸であり、カップルの関係改善は家族問題の解決に繋がります。しかし、看護者は漠然とした抵抗感から、悩める患者さんの支援ができていません。この現状を何とかしたいと考え、この論文の作成に至りました。看護研究は患者さんの幸福に繋がることが求められます。この指標が、カップルや家族の幸福に繋がると願っています。



## 臨床検査学科多田准教授が特許を取得されました



香川大学と東芝メディカルシステムズ株式会社との共同で、「自動分析装置、血液型判定用検査試薬、及び凝集体溶血用試薬」に関する特許を取得しました。(特許第 6101476)。

本発明は生化学自動分析装置を用いたABO式血液型検査に関する発明です。特徴は、特殊な試薬が不要で、迅速かつ簡便にABO式血液型検査を数値化できることです。本発明が医療に貢献できればと思っています。



## Introduction 新任紹介



森西 起也  
臨床検査学科助教  
専門分野  
形態検査学

私は本学の学生として学び、大学院修士課程を修了し、病理検査を主とする検査センターに勤めておりました。私自身の学生時代の経験、現場での知識や技術を活かし、本学での教育や研究に努めたいと思っております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## サークル紹介

### 災害医療サークル 看護学科 2年 田端 風花

皆さんこんにちは。災害医療サークルは今年の4月から活動し始めた新しいサークルで、現在部員8名で活動しています。工夫を凝らしたゲームや講義を通して皆さんに災害に興味を持ってもらうきっかけ作りができればいいなと思っています。

10月21日(土)の大学祭では、ワークショップを予定しています。いつか起こる災害について一緒に学び、そして行動に移すきっかけにしてみませんか。お待ちしております。



### 香川文化サークル 臨床検査学科 2年 足立 裕美

私たち香川文化サークルは、香川の魅力を再発見し、発信することを目的とし、県外の方、もちろん県内の方でも香川で楽しめるように今年設立されたサークルです。

4月に栗林公園で花見をしたり、月・季節ごとに開催される各文化的名所でのイベント等に参加し、香川の文化にふれて楽しみ、良い思い出をつくっています！



## 国家試験合格状況・進路状況

平成28年度も看護師、保健師、臨床検査技師の国家試験において、全国平均より高い合格率を維持しています。また、看護学科、臨床検査学科、助産学専攻科の進路状況では、活躍の場を県内外に求め、次のステップへと羽ばたいていきました。

### 《国家試験合格状況(平成28年度実施)》

	看護師	保健師	助産師	臨床検査技師
受験者数(人)	66	21	10	20
合格者数(人)	64	20	8	20
合格率(%)	97.0	95.2	80.0	100.0
新卒者の全国平均(%)	94.3	94.5	93.2	89.9

### 《進路状況(平成29年3月卒業生・修了生)》

学 科	看護学科			臨床検査学科	助産学専攻科	
	看護師	保健師	その他			
就職者数(人)	県内	24	6	2	11	6
	県外	26	3	0	6	2
進学者数(人)		5		3	0	
その他(人)		0		0	2	
合 計(人)		66		20	10	



## ●お知らせ

- ◆ かんらんさい 橄欖祭(大学祭)～ミニオープンキャンパス同時開催～平成29年10月21日(土)
- ◆ 公開講座  
平成29年11月24日(金) 会場:香川県社会福祉総合センター

### 【入学試験】

- 推薦入試(看護学科・臨床検査学科) 平成29年11月18日(土)
- 専攻科入試(助産学専攻科) 平成29年11月25日(土)
- 一般前期入試(看護学科・臨床検査学科) 平成30年2月25日(日)
- 一般後期入試(看護学科) 平成30年3月12日(月)

タイトルのHANDsは“高い専門的医療技術により、尊い生命を支える人間愛に溢れた温かい手”を意味しています。

### ◆学校への経路

【西方面から】高松から車で30分/こつでん志度線・原駅下車徒歩10分/高松東ICより車で10分  
【東方面から】JR高徳線・JR志度駅から車で5分/志度IC(または、さぬき三木IC)より車で10分

## 香川県立保健医療大学

KAGAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF HEALTH SCIENCES

〒761-0123 香川県高松市牟礼町原281-1  
Tel:087-870-1212 Fax:087-870-1202  
E-mail: hokeniryodaigaku@pref.kagawa.lg.jp  
<http://www.kagawa-puhs.ac.jp/>

